

まちづくり新聞 38号

～バリアフリーアピール～

☆アピールとは☆

地域の皆さんや行政が参加して、より良いまちづくりへの想いと、取材した店舗や施設のアピールを込めたものです。

記号のご案内



自動ドア



エレベーター



車いす可能
エレベーター



エスカレーター



車いす可能
エスカレーター



駐車場



スロープ



段差



だれでもトイレ



手すり付き男子トイレ

第50回 国際福祉機器展



☆内容☆ 展示会

・会場 東京ビッグサイト

・展示期間

2023年9月27日(水)

～9月29日(金) 10:00～17:00

・交通手段

りんかい線・JR埼京線直通国際展示場駅

ゆりかもめ・東京ビッグサイト



展示場風景

第50回 国際福祉機器展 H.C.R2023 に行ってきました。

令和5年度の国際福祉機器展は、例年通り、東京ビックサイトで行われました。その日は残暑もあり、屋外で昼食をとったので暑かったです。

電動・手動の車いすや、車いすごと乗降できるワゴン車。それに定番中の定番、介護用のベッド、浴室、トイレなど。コロナも5墨になり以前の、活気が戻って来たようです。

さて、私自身今回の、国際福祉機器展には自立生活センターたいとう・まちづくプロジェクトとして

行く取材のほかに、私事の目的もありました。それは10年程前の事と記憶してはいますが、私のパソコンで使っているトラックボールを、誤って机から落としてしまいました。重くて、頑丈そうな作りのトラックボールでしたが、70センチぐらいの高さのある机から、落下したところが板張りのクローゼットだったので、一発で破損してしまいました。アメリカ製のトラックボールで、手に障がいがある私には、非常に使いよく出来ていたもので、ショックでした。やむを得ず既存のメーカーのトラックボールを、使って6,7年経ち、一応使いこなせてはなりましたが、手の不自由な人のために作られた物ではなかったので、思うような操作がしづらい所もありました。そんなことを思いながら会場を周り、もう、1時間足らずで迎えのタクシーの来る時間となったとき、付き添ってくれたヘルパーが見つけてくれた展示コーナーに、子供のゲームを動かす、補助具を作っている会社が出店しているものの中に、トラックボールがありました。



今年も多様な電動車いすが展示されていました。左の車椅子は階段も登れるそうです。また、右のキャタピラの車いすは荒地や山も登れるそうです。

使い勝手がよさそうに見え、運がよくちょうど試作品を借りられ、使ってみて期待通りの物だったので、購入を決めました。区の福祉制度を使えたので良かったです。今回の事は私の不注意で招いた事ですが、福祉制度を使わなくても、多少手が不自由な人でも使えるトラックボールが、安く電化量販店や近所の電気屋さんで、気軽に買えて、多少のメンテナンスを受けられれば、購入時の補償も付いて、新しいトラックボールが6,7年待たなくても、安く購入できたのかなあと思いました。今回の冒頭にも書きましたが、大分活気が戻り、いつもの楽しい国際福祉機器展でした。



この電動ベットはほぼ床まで下がるものです。

さてここからは、福祉機器展にちなんで、過去私が使った福祉機器のお話しをしましょう。

養護学校（現在の特別支援学校）に入学し、同級生や学校から歩行器を借りて使用していました。その後福祉制度を使って歩行器2台、手動車いすが3台。電動車いすは、現在使用しているので、8台目になるのでしょうか？さらに歩行訓練用の、補装具、松葉杖、そしてワープロ、パソコン、今回のトラックボール。生活するだけで精一杯な障がい者にとっては、本当に良い精度だと思います。ただ日進月歩の世の中、次から次へと新しいタイプのパソコン出て来るので、次のパソコンは多少自費が掛かっても、補助を使わずに買い替えてしまう人がほとんどです。いや、使いたくても使えない人も中にいるかもしれない。それに健常者でも、どんなに残業して生活を切りつめても、最新家電などは、簡単に手に入れない人の事を思えば、私たちは幸せかもしれません。

だいぶ前の新聞にも同じようなことを書きましたが、今はスマートフォンはじめ、タブレットを使って動かすものが主流になってきているようです。そういう機器を動かして、収納が簡単なものがあれば私のような、手に障がいがある人でも便利だと思いますが、どう思いますか？



今年もCILたいとう事務局員の高橋さんとそれぞれ興味のあるものを見て周りました。

今回は自立生活センターたいとう理事長鶴岡和代さんにバリアフリーについて記事を書いて頂きました。

浅草公会堂 リニューアルオープン！

皆さんこんにちは。自立生活センターたいとうを立ち上げた時に長澤さんと一緒に歩んできた鶴岡です。今日は、浅草公会堂についてお伝えしたいと思います。1977年公会堂が開館し、R4年1/4にリニューアルしました。建物自体は、綺麗になりました。座席のところも車いす席が見やすくなりました。歌舞伎とかコンサートなど観に行くことが多いので、嬉しく思っています。現在の車いす席は、ステージ向かって右側は、前から5番目でほとんどフラットです。ステージ左側は、車イス席が、前から4番目で出入りもしやすい位置にあります。

リニューアル前は、車いす席は、12番目のかなりスロープ上になったような所でした。怖い思いをしたこともあります。新春歌舞伎で若手俳優が、賑やかに華やかに歌舞伎を楽しませてくれるので、良かったなと思って嬉しく思っています。ただ、エレベーターが1台しかないので、客席に行くには、そのエレベーターを使うしかならないため、なかなか順番が回ってきません。もう一台エレベ



浅草公会堂外観と歌舞伎公演時の客席です。

一ターがあったら良いのになと思っています。

／ 最 後 に ！

3.11 から 10 年が過ぎ、町も復興し、新型コロナウイルスも 5 類と落ち着いた、今年令和 6 年元旦、能登半島地震が発生、石川県門田町走出（いしかわけんもんでんちょうはしり）で、羽咋郡志賀町香能（はくいぐんしがましかのう）で震度 7 の強い地震が起こり、多数の被災者や、住宅が崩壊し希望が持てぬまま、仮設住宅の入居に、最後の望みを賭けていても、吉報がなかなか聞けない人がどのくらいいるのでしょうか？『天災は忘れた頃にやって来る』と言いますが、コンピューターのコンピューター技術が進み、週間天気予報が当たるようになって、大災害がいつ来るかが、予想が付かないのは本当にもどかしいものです。備えあれば憂いなし。みなさんも日頃からの心構えを、しっかりとしておきましょう。

.....

我が自立生活センターたいとうの理事長の鶴岡さんに書いて頂きましたが、浅草公会堂の進歩は目覚ましいものがあります。浅草寺の境内や、浅草神社も抵抗なく、車いすで上がれることは、実に喜ばしいことです。私自身も私の両親も浅草生まれの浅草育ち。三社祭の時期は、心ワクワク、楽しい気分になってきます。

しかしそんな浅草を、否定させる出来事に遭遇してしまいました。会社員が出張先のまちで、空腹を覚え、偶然入った飲食店で、食事を楽しむといったドラマです。そのドラマに使われる飲食店は、その街に実際に存在する店です。出てくる料理も、そのお店で実際に、出しているものです。ただ違うのはドラマなので、店の店員も、客もすべて俳優がやっています。そのドラマのある回に、浅草のある飲食店が舞台として使われた回があり、そのお店で出している、「オムカレー」というものを注文し、食べているシーンがあり、美味しそうで、電話番号を調べて、掛けてみました。店員さんらしき人が出たので、注文している途中で、電話を切られました。どうやら、私の言語障がい分が分からなかったのだろうと察しは付きましたが、念のためもう一度かけてみましたが、結果は同じでした。そんなことは、言語に障がいがある人なら、いくらでも有るはなしで、やり過ごせば、よもやま話になるかもしれません。しかし今の世の中客商売で、そんな対応をする店がある



とは、悔しいというより、「不思議」というキーワードが頭をよぎり、言語障がいがある自分のもどかしさと、「心のバリアフリー」という言葉が、世間にはまだ浸透していない事が本当に残念です。

台東区日本堤に出来た「田中スポーツプラザ」で、令和5年度CILたいとうで、ボッチャ大会をやりました。大会自体盛り上がり、秋の休日の、楽しいひと時でした。

廃校になった小学校を、多目的施設としてよみがえらせ、町の新たな、名所となりそうな「田中スポーツプラザ」。自立生活センターたいとうで使用した部屋は、小体育室でしたが、体育館や、グラウンド、集会場など使用できます。コロナも収束しそうなり、そういった多機能施設で、汗を流したりするのも気持ちがいい。遠くの娯楽施設や、ゲームセンターで遊ぶのも良いですが、田中スポーツプラザで休日を過ごすのも良いですね！



私はあんまり興味がないのですが、メジャーリーグに入って大谷翔平の活躍は、二刀流の自慢の力で、日本とアメリカのファンの期待を、裏切らない。しかし大谷自身が信用していた、通訳者の裏切りは、怒りという感情もある上、悲しさを感じられたのではないかなと思います。こんなのは、ただの私自身の思いかもしれませんが、人に裏切られたとき、一時的には悔しさや、悲しさがこみあげてくることもあるでしょう。しかしそんな時その苦しみをバネにして、自分の人生を、歩いていくのが、本当の意味での自立した、人生だと思うのですが。



私の新聞にご賛同、応援して頂ける方はご寄付金 1,000 円(年間1回程度)を長澤まで宜しくお願い致します。

また、特定非営利活動法人自立生活センターたいとうの活動にご賛同いただける方、賛助会員としてご支援をお願いしております。

正会員	年会費	5,000円
賛助会員	年会費 個人会員一口	3,000円
団体会員	一口	10,000円